記者発表資料

令和４年度(2022年度)
国　土　交　通　省
東北地方整備局関係

青森県内事務所予算概要

令和４年３月２５日

※発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問　い　合　わ　せ

青森河川国道事務所	青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521		
	計画課長（全般）	舘山（たてやま）　幸大（ゆきひろ）	（内線２６１）
	河川副所長	金（こん）　真一郎（しんいちろう）	（内線２０４）
	工務第一課長（河川担当）	長谷川（はせがわ）　優人（まさと）	（内線３１１）
	道路副所長	小笠原（おがさわら）　清（きよし）	（内線２０５）
	工務第二課長（道路担当）	相馬（そうま）　弘文（ひろふみ）	（内線４１１）
高瀬川河川事務所	八戸市石堂３丁目７－１０　ＴＥＬ：0178-28-7135		
	技術副所長	大平（おおだいら）　知秀（ともひで）	（内線２０４）
	工務課長	田嶋（たしま）　仁（ひとし）	（内線３１１）
青森港湾事務所	青森市本町３丁目６番３４号　ＴＥＬ：017-775-1394		
	副所長	佐々木（ささき）　正一（しょういち）	
	海洋利用調整官	福士（ふくし）　昌哉（まさや）	
八戸港湾・空港整備事務所	八戸市沼館４丁目３番１９号　ＴＥＬ：0178-22-9391		
	副所長	田村（たむら）　勇（いさむ）	
	企画調整課長	高橋（たかはし）　丈治（じょうじ）	

【令和４年度(2022年度) 青森県内事務所予算概要】

青森県内事務所の令和４年度の直轄事業予算は、下記のとおりで、河川・道路・港湾事業の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。
また、魅力ある建設業の職場環境づくりを推進するため、青森県内の公共工事について、毎月の第２土曜日を一斉に休みとする取り組み『週休２日制普及促進ＤＡＹ』を昨年度に引き続き実施します。

令和４年度(2022年度) 青森県内事業費

青森河川国道事務所		約	９２億円
（内訳）	河川関係事業費	約	１２億円
	道路関係事業費	約	８０億円
高瀬川河川事務所		約	２億円
青森港湾事務所		約	２億円
八戸港湾・空港整備事務所		約	４億円

※ 億円以下は四捨五入

※ 「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」を除く。

【令和４年度(2022年度)予算内訳】

（単位：百万円）

〈参　考〉

	令和４年度（当初）A	令和３年度（当初）B	前年比 (A/B)	令和３年度一次補正 C	合計 D=(A+C)	前年比 (D/B)	摘　　要
河川関係事業費	1,229	1,410	0.87	790	2,019	1.43	青森河川国道事務所
	244	207	1.18	50	294	1.42	高瀬川河川事務所
道路関係事業費	8,004	9,835	0.81	1,080	9,084	0.92	青森河川国道事務所
港湾事業費	208	191	1.09	272	480	2.51	青森港湾事務所
	426	1,400	0.30	2,582	3,008	2.15	八戸港湾・空港整備事務所

※　事業費は、業務取扱費を除く金額(工事関係費)で記載。

※　「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」を除く。

※　本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

令和４年度(2022年度)

青森河川国道事務所　事業概要

令和４年３月２５日

国土交通省　東北地方整備局

青森河川国道事務所

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521

全　　般
計　画　課　長　舘山（たてやま）　幸大（ゆきひろ）　（内線　２６１）

河　川　関　係
副　　所　　長　金（こん）　真一郎（しんいちろう）　（内線　２０４）
工務第一課長　長谷川（はせがわ）　優人（まさと）　（内線　３１１）

道　路　関　係
副　　所　　長　小笠原（おがさわら）　清（きよし）　（内線　２０５）
工務第二課長　相馬（そうま）　弘文（ひろふみ）　（内線　４１１）

令和４年度(2022年度)青森河川国道事務所予算概要

青森河川国道事務所の令和４年度の予算は以下のとおりで、河川及び道路事業の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

令和４年度(2022年度) 事業費

■国土交通省計上分　　[前年比]（ Ｒ３ 当 初 ）

9,233 百万円　[0.82]（ 11,245 百万円 ）

（内訳）

河川関係事業費	**1,229 百万円**	[0.87]	（ 1,410 百万円 ）
道路関係事業費	**8,004 百万円**	[0.81]	（ 9,835 百万円 ）

注１）事業費は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

注２）「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」を除く。

【令和4年度（2022年度）青森河川国道事務所 事業概要】

青森河川国道事務所では「安全で安心して暮らせる地域」「活力ある地域」を目指して、青森県の優れた自然環境、景観、観光資源等との調和を図りつつ、地域と連携を図りながら、河川・道路事業の効率的・円滑な実施に努めます。

また、重要インフラの緊急点検の結果に基づき、防災・減災、国土強靭化のための緊急対策及びその他喫緊の課題について引き続き対応をしていきます。

１）河川事業

近年、気候変動に伴い、水害の頻度が増大しており、激甚化の恐れも高まっています。青森県内においても平成２５年９月の台風１８号等により、浸水被害が発生していることから治水安全度の向上が喫緊の課題となっています。

青森河川国道事務所では、治水安全度の向上を目指し、安心、安全な暮らしを守るために「岩木川水系河川整備計画」、「馬淵川水系河川整備計画」に基づき、水害が発生した地域における再度災害防止対策や予防的な対策を実施します。

併せて、「水防災意識社会　再構築ビジョン」としてハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進するとともに、河川区域や氾濫域だけでなく、集水域を含めた全体で氾濫被害を防止・軽減するため、流域治水プロジェクトの取組をあらゆる関係者で協力して進めます。

また、良好な河川環境を保全するとともに、河川施設の的確な点検・修繕等の対策を着実に実施します。

２）道路事業

青森県は生活の足として自動車交通への依存率が高く、人口の集中する都市部を中心とした慢性的な交通渋滞や交通事故が多発しています。また、全国有数の豪雪地帯であり、冬期間の交通安全の確保も重要な課題となっています。

青森河川国道事務所では、このような県内の様々な課題に対応するため、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路の整備や安全で円滑な交通の確保を目的としたバイパス事業等、４箇所の改築事業を実施します。その内の、天間林道路を令和４年内に開通させると共に、野辺地七戸道路を令和４年度に新たに事業着手します。

交通安全対策として、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）や交差点改良を実施、また雪道対策として、峠部である４号目時地区、７号矢立地区、鶴ヶ坂地区で登坂車線整備の継続など、１５箇所の事業を実施します。その内の、二十平地区交差点改良、四本松地区交差点改良、城下地区交差点改良の３箇所が令和４年度に新規事業化し事業着手します。

八戸地区の国道４５号、国道１０４号では、災害時における緊急輸送道路の確保や安全な通行空間の確保を図るため、２箇所の無電柱化推進事業を実施します。

また、国道４号、７号、４５号、１０１号、１０４号の５路線３２２．２ｋｍについて、国民生活や経済の基盤であるインフラが的確に維持されるよう、道路施設の点検を実施し維持更新や除雪を行い、安全で円滑な交通を確保します。

令和４年度(2022年度)　主要事業位置図

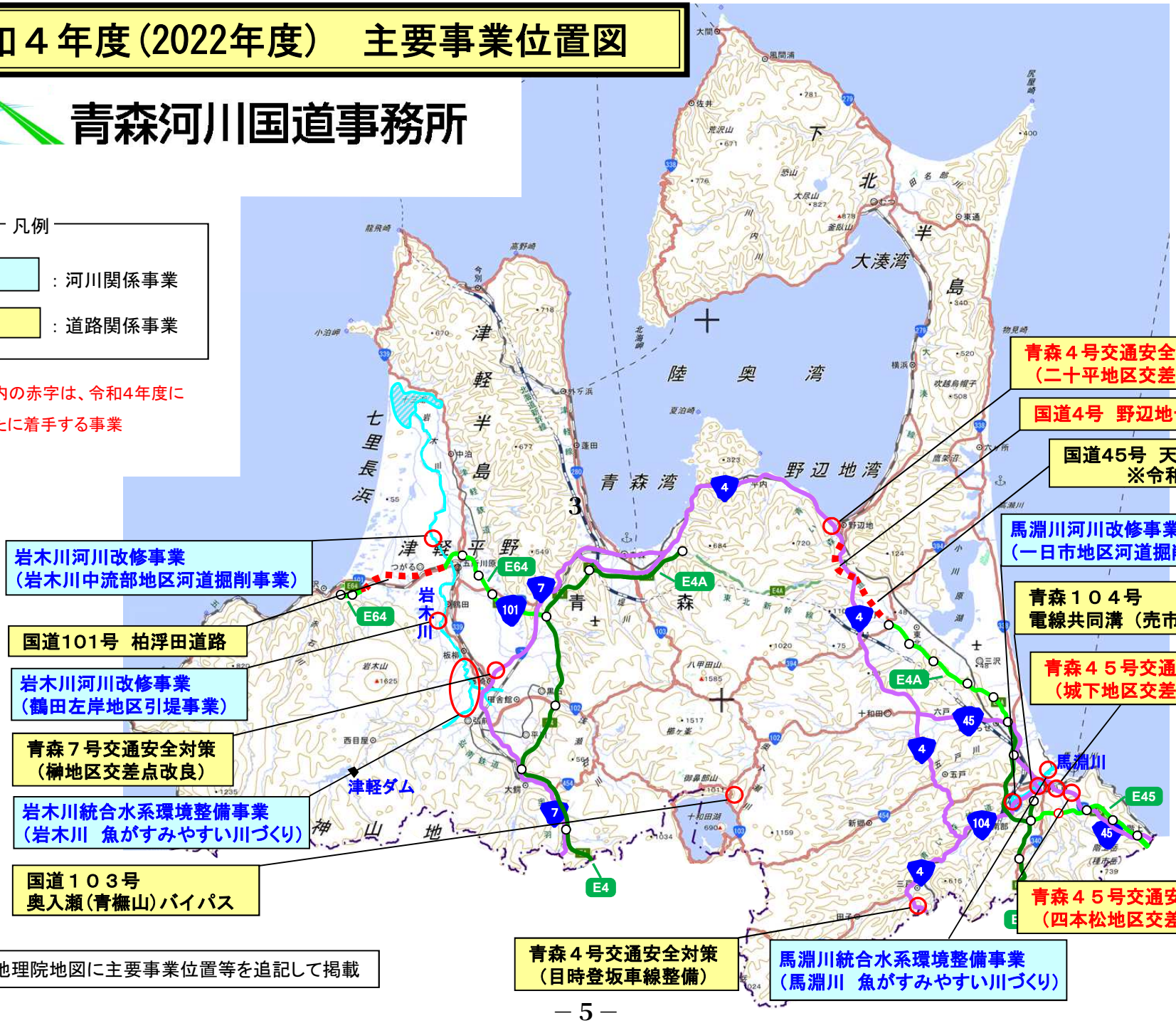
青森河川国道事務所

凡例

：河川関係事業

：道路関係事業

枠内の赤字は、令和4年度に
新たに着手する事業



地理院地図に主要事業位置等を追記して掲載

令和４年度(2022年度)　河川事業のポイント

〔河川改修事業〕

＜継続事業＞

○馬淵川においては、令和元年度東日本台風等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区間である**“八戸市一日市地区”**において河道掘削及び用地取得等を実施します。　（Ｐ－１６参照）

○岩木川においては、平成２５年９月洪水において、計画高水位を超過し、川幅が狭く流下能力の低い**“鶴田左岸地区”**において旧保安橋及び旧堤の撤去等を実施します。　（Ｐ－１６参照）

また、河川整備計画に基づく治水対策として、**“岩木川中流部地区”**における河道掘削を行い、あわせて河道掘削土を利用し堤防の完成堤化も進めます。

（Ｐ－１７参照）

〔総合水系環境整備事業〕

＜継続事業＞

○馬淵川・岩木川において、川の連続性を確保するとともに、魚類等の生息環境の向上を図る**“魚がすみやすい川づくり”**を継続推進します。

令和４年度(2022年度)　道路事業のポイント

〔改築事業〕

高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として野辺地七戸道路、上北自動車道（天間林道路）、津軽自動車道（柏浮田道路）や、安全で円滑な交通の確保を目的とした奥入瀬（青橅山）バイパスの整備を継続して実施します。

＜新規事業＞

○国道４号”**野辺地七戸道路**”は、下北半島縦貫道路の一部を構成し、ミッシングリンクの解消による安定した物流経路の確保や冬期の走行環境の改善等を目的とする道路です。　（Ｐ－１０参照）

＜開通事業＞

○国道４５号”**天間林道路**”は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、迅速かつ円滑な物流・人流の確保、交通混雑の緩和等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。令和４年内に舗装工事等を実施し、全線２車線にて開通します。　（Ｐ－１４参照）

＜継続事業＞

○国道１０１号”**柏浮田道路**”は、津軽自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による周遊観光・地域産業の活性化、高次救急医療の支援などを目的とする自動車専用道路です。　（Ｐ－１８参照）

〔交通安全施設等整備事業〕

交通安全対策事業は、幹線道路や通学路の交通安全の確保、事故危険箇所において集中的な交通安全施設を整備する事業です。

＜新規事業＞

○国道４号”**青森4号交通安全対策（二十平地区交差点改良）**”は、国道に右折レーンがなく直進阻害による追突事故が多発しているため、右折レーンの設置等を行い交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。　（Ｐ－１１参照）

○国道４５号”**青森45号交通安全対策（四本松地区交差点改良）**”は、交差点面積が大きく交差点内の導線錯綜や判断ミスによる事故が多発しているため、交差点コンパクト化等を行い交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。（Ｐ－１１参照）

○国道４５号”**青森45号交通安全対策（城下地区交差点改良）**”は、右折車が多く直進車線まで滞留した右折車に起因する追突事故が多発しているため、右折レーン延伸等を行い交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。　（Ｐ－１２参照）

＜継続事業＞

○国道４号”**青森4号交通安全対策（目時地区登坂車線整備）**”は、無理な追い越しによる正面衝突事故や､冬期のスタック車両による交通障害が発生しているため、登坂車線整備を行い交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。（Ｐ－１８参照）

○国道７号”**青森7号交通安全対策（榊（さかき）地区交差点改良）**”は、速度低下による追突事故等が多発しているため、付加車線整備や右折レーンの延長等を行い交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。　（Ｐ－１９参照）

〔無電柱化推進事業〕

無電柱化推進事業は、「防災」、「景観・観光」、「安全・快適」の観点から、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備により、道路上から電柱をなくすことを目的とした事業です。

＜継続事業＞

○国道１０４号”**青森104号電線共同溝（売市（うるいち）地区）**”は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。　（Ｐ－１９参照）

【令和4年度　新規事業化箇所一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	R4事業費（百万円）	R4事業内容	備考
道路	直轄	国道4号　野辺地七戸道路	上北郡 野辺地町	―	50	調査設計	P10
道路	直轄	国道4号　青森4号交通安全対策（二十平地区交差点改良）	上北郡 野辺地町	―	15	調査設計	P11
道路	直轄	国道45号　青森45号交通安全対策（四本松地区交差点改良）	八戸市	―	15	調査設計	P11
道路	直轄	国道45号　青森45号交通安全対策（城下地区交差点改良）	八戸市	―	15	調査設計	P12

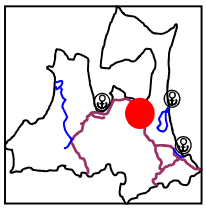
国道4号　野辺地七戸道路

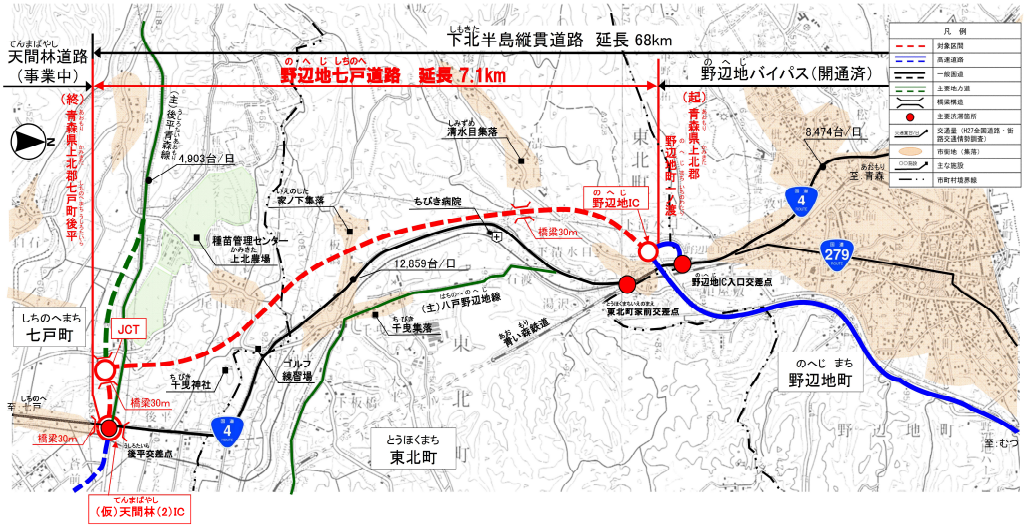
R4：50百万円

開通予定：ー

新規	青森県上北郡野辺地町～上北郡七戸町	道路	直轄

【事業の概要】
　下北半島縦貫道路の一部を構成し、ミッシングリンクを解消するとともに、冬期の走行環境の改善等を目的とする道路です。





【整備効果】
○高規格道路ネットワークのミッシングリンクを解消し、安定した物流経路を確保します。
○規格の高い路線の整備により、冬期の走行環境が改善され、事故発生リスクが低減します。

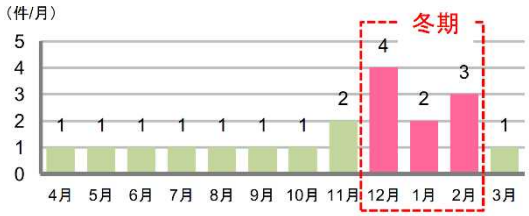


資料：R元市場・企業ヒアリング調査、「青森おさかな自慢」（青森県）、「続青森おさかな自慢」（青森県）、東京都中央卸売市場市場統計情報、R元JAヒアリング調査、あおもり産品情報サイト

▲青果物、水産物の流通状況



▲冬期幅員減少状況



資料：ITARDAデータ（H28～R1）

▲月別死傷事故発生件数（H28~R1累積）

【令和4年度の事業内容】
　調査設計を実施します。

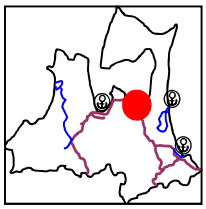
国道4号　青森4号交通安全対策（二十平地区交差点改良）

R4：15百万円

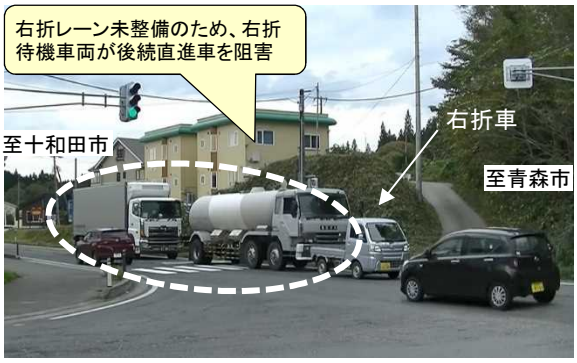
開通予定：ー

新規	青森県上北郡野辺地町	道路	直轄

【事業の概要】
　上北郡野辺地町郊外に位置する当交差点は、右折レーンがないため、直進阻害による追突事故等が多発しています。このため、右折レーンの設置等を行います。令和4年度は、調査設計を実施します。







▲交差点の状況

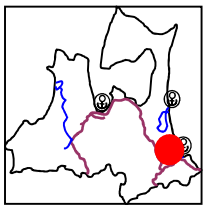
国道45号　青森45号交通安全対策（四本松地区交差点改良）

R4：15百万円

開通予定：ー

新規	青森県八戸市	道路	直轄

【事業の概要】
　国道45号と主要地方道八戸環状線が交わる本交差点は、面積が大きい交差点のため、交差点内の導線錯綜や判断ミスによる交通事故が多発しています。このため、交差点のコンパクト化等を行います。
令和4年度は、調査設計を実施します。



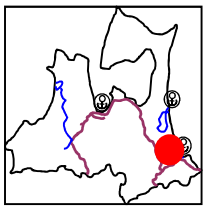




▲交差点の状況

国道45号　青森45号交通安全対策（城下地区交差点改良）		R4：15百万円 開通予定：ー	
新規	青森県八戸市	道路	直轄

【事業の概要】
　市中心部に位置する本交差点は、上下線ともに国道からの右折車両が多く、直進車線まで滞留した右折車に起因する追突事故が多発しています。このため、右折レーン延伸等を行います。
令和4年度は、調査設計を実施します。







▲交差点の状況

【令和4年度　完成･開通予定箇所一覧】

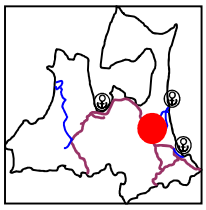
事業区分		事業名	市町村名	完成･開通目標年度	R4事業費（百万円）	R4事業内容	備考
道路	直轄	国道45号　天間林道路	上北郡 七戸町	R4年内	2,940	全線2車線開通 調査設計、支障物移転、改良･舗装･道路付属物工事	P14

国道45号　天間林（てんまばやし）道路

R4：2,940百万円

開通	青森県上北郡（かみきた）七戸町（しちのへまち）	道路	直轄

【事業の概要】
　国道45号　天間林道路は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、迅速かつ円滑な物流・人流の確保、交通混雑の緩和等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

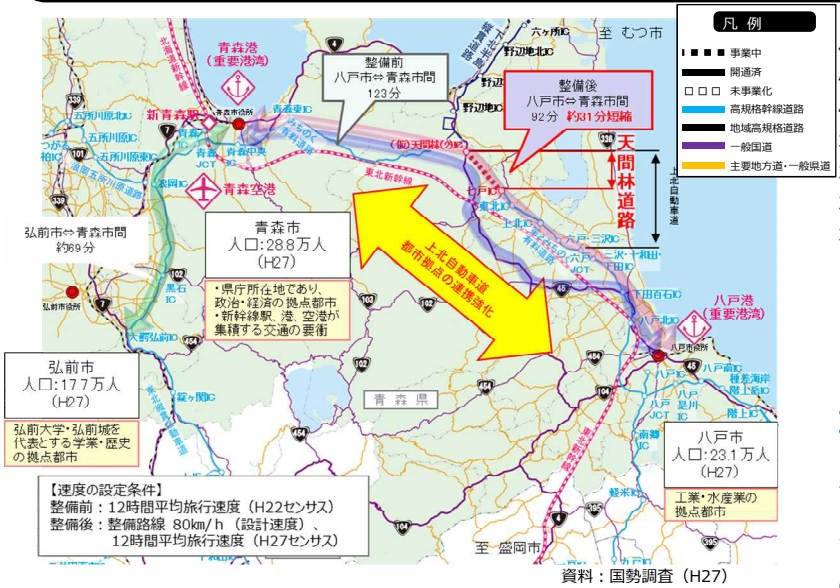






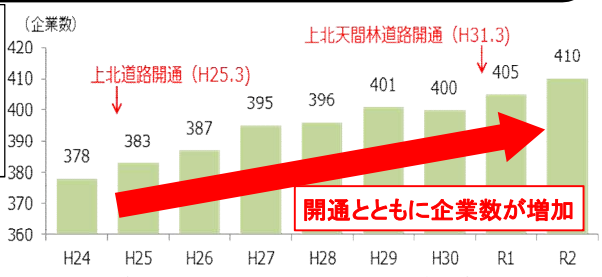
▲天間林道路の整備状況

【整備効果】
〇県内主要都市間の連携強化により、地域間の交流人口の拡大を支援します。
〇物流の効率化、企業立地の促進等、企業活動を支援します。



資料：国勢調査（H27）

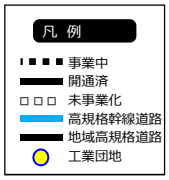
▲県内主要都市間の状況



※各年4月1日現在（R2年はR2.10月時点）　資料：青森県商工労働部

▲県南・下北地域の企業数の推移





◂県南・下北地域の工業団地

【令和4年度の事業内容】
　舗装工事等を実施し、全線2車線にて開通します。

【主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	R4事業費（百万円）	R4事業内容	備考
河川	直轄	馬淵川　一日市地区河道掘削事業	八戸市	―	（246）	河道掘削、用地取得	P16
河川	直轄	岩木川　鶴田左岸地区引堤事業	北津軽郡鶴田町	―	（744）	旧橋撤去等	P16
河川	直轄	岩木川　中流部地区河道掘削事業	つがる市	―	（744）	河道掘削	P17
河川	直轄	馬淵川　魚がすみやすい川づくり	八戸市	R6	16	遡上調査等	―
河川	直轄	岩木川　魚がすみやすい川づくり	弘前市	R10	47	瀬と淵の再生モニタリング等	―
道路	直轄	国道101号　柏浮田道路	つがる市	―	600	調査設計、用地補償、改良工事	P18
道路	直轄	国道103号　奥入瀬(青橅山)バイパス	十和田市	―	2,580	調査設計、トンネル工事	―
道路	直轄	国道4号　青森4号交通安全対策 （目時登坂車線整備）	三戸郡 三戸町	―	129	改良工事	P18
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策 （榊地区交差点改良）	南津軽郡 藤崎町	―	241	改良工事	P19
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝 （売市地区）	八戸市	―	140	調査設計、支障物移設、本体工事	P19

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・水系全体の事業費

馬淵川（まべちがわ）　一日市（ひといち）地区河道掘削事業

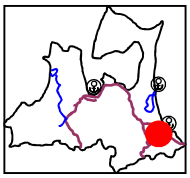
R4：246百万円※

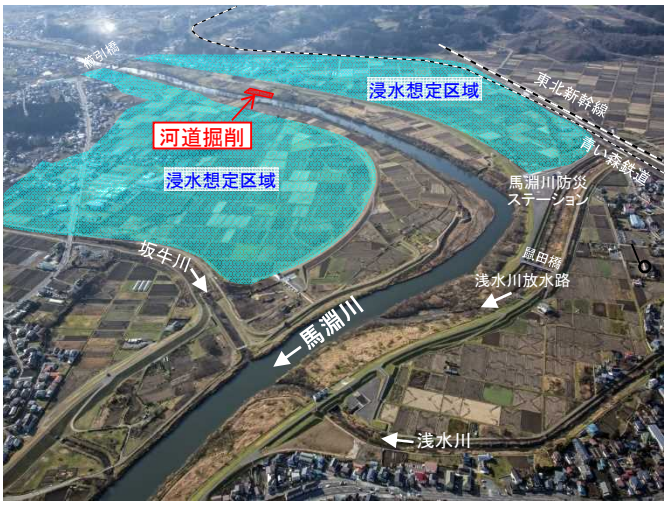
完成予定：　－

継続	青森県八戸（はちのへ）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

令和元年東日本台風等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区間等において、河道掘削を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和4年度は、河道掘削及び用地取得等を実施します。





河川整備計画の目標規模と同等の洪水が発生した場合でも一日市地区の浸水被害を解消します。



岩木川（いわきがわ）　鶴田（つるた）左岸地区引堤事業

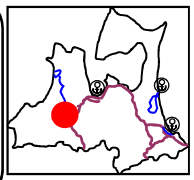
R4：744 百万円※

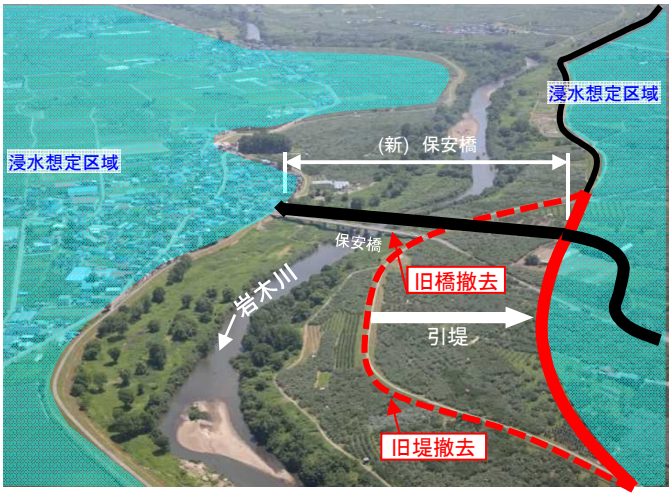
完成予定：　－

継続	青森県北津軽郡（きたつがる）鶴田町（つるたまち）	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

鶴田左岸地区は、川幅が狭く洪水時に水が流れにくい箇所となっています。このため、現在の堤防の背面に新たに堤防を整備して川幅を拡げ、併せて保安橋の架替を行い、河川の水位を低下させます。
令和4年度は、旧保安橋及び旧堤の撤去等を実施します。







保安橋開通式（令和2年12月19日）



保安橋通り初め



岩木川（いわきがわ）中流部地区河道掘削事業

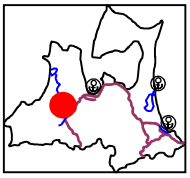
R4：744百万円 ※

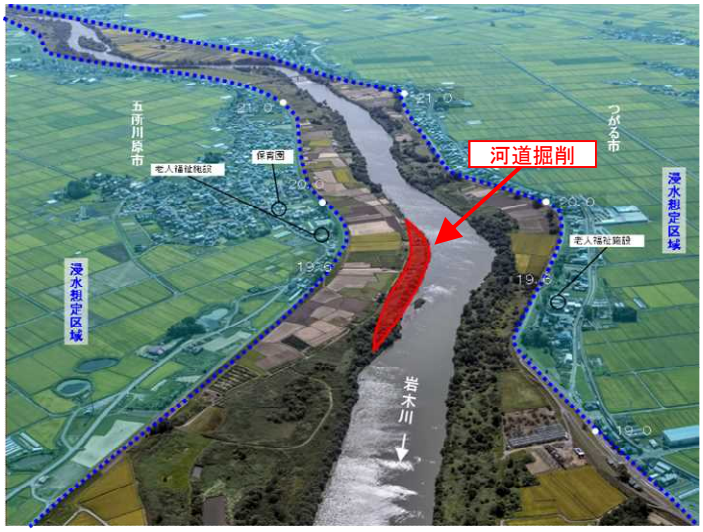
完成予定： －

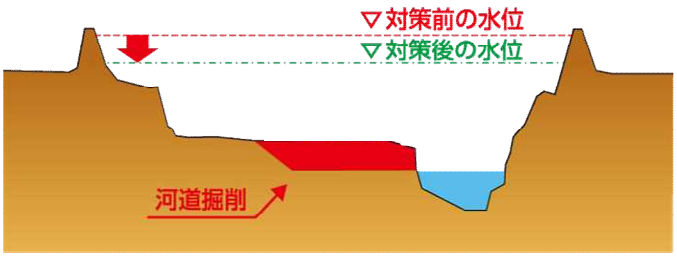
継続	青森県つがる市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

河川整備計画に基づく治水対策として、河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和4年度は、河道掘削等を実施します。







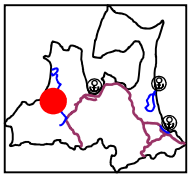
【河道掘削（イメージ）】

国道101号　柏浮田道路（かしわうきた）

R4：600百万円	
開通予定：　ー	

継続	青森県つがる市	道路	直轄

国道101号　柏浮田道路は、津軽自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による周遊観光・地域産業の活性化、高次救急医療の支援などを目的とする自動車専用道路です。







▲国道101号の冬期の交通状況（地吹雪）

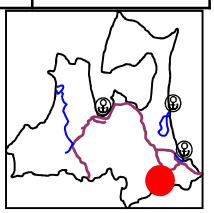
柏浮田道路の整備により、西津軽（にしつがる）地域と主要拠点の連携強化、積雪や地吹雪による冬期交通機能低下の改善等が図られます。

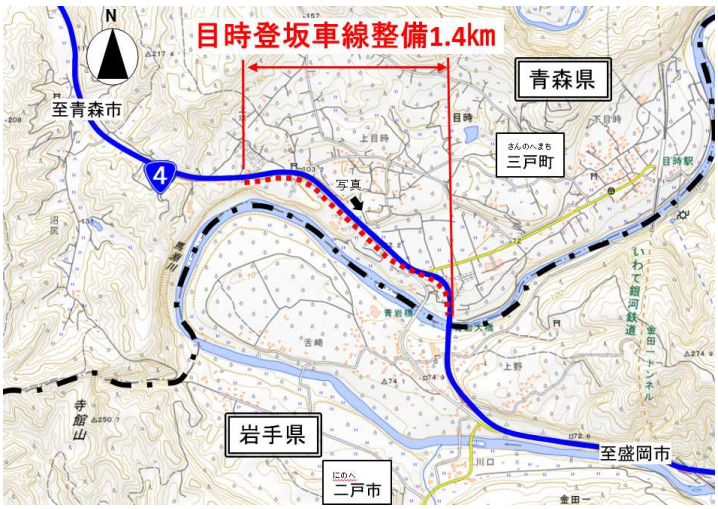
国道4号　青森4号交通安全対策（目時（めとき）登坂車線整備）

R4：　129百万円	
開通予定：ー	

継続	青森県三戸郡（さんのへぐん）三戸町（さんのへまち）	道路	直轄

青森県と岩手県の県境部に位置する当箇所は、無理な追い越しによる正面衝突等の事故や、冬期にはスタック車両による交通障害が発生しています。このため、登坂車線の整備等を実施します。







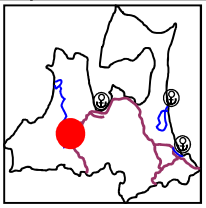
登坂車線の整備等により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道7号　青森7号交通安全対策（榊（さかき）地区交差点改良）

R4：241百万円
完成予定：ー

継続	青森県南津軽郡藤崎町（みなみつがるふじさきまち）	道路	直轄

藤崎町郊外に位置する当区間は、混雑による追突事故や無理な追い越し等が多発しています。このため、付加車線の整備等を実施します。







▲通勤時間帯の交通状況

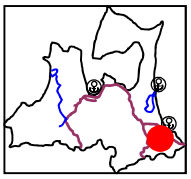
付加車線の整備等により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道104号　青森104号電線共同溝（売市（うるいち）地区）

R4：140百万円
完成予定：　ー

継続	青森県八戸市（はちのへ）	道路	直轄

売市（うるいち）地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道１０４号の電柱状況

電線共同溝の整備により、災害時における緊急輸送道路の確保等が図られます。

記者発表資料

令和4年度
高瀬川河川事務所　事業概要

令和　4年　3月　25日

国土交通省　東北地方整備局

高瀬川河川事務所

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　高瀬川河川事務所
八戸市石堂三丁目7－10（TEL0178－28－7135）

（おおだいら ともひで）
技術副所長　　大平　知秀　　（内線204）
（たしま ひとし）
工務課長　　田嶋　仁　　（内線311）

令和４年度　事業概要

１．　予算概要

令和４年度の事業費は、以下のとおりです。

高瀬川河川事務所　令和４年度当初予算

事業費　約　２．４　億円

２．　小川原湖水環境整備事業

小川原湖の水環境改善のため、水環境対策工事を実施します。また、対策効果のモニタリング調査を実施します。

（高瀬川河川事務所　予算内訳）

	事業費　（百万円）		適　　用
	R3 年度	R4 年度	
河川関係事業費	207	244	

※維持修繕関係事業費を除く

高瀬川（たかせがわ）　小川原湖（おがわらこ）水環境整備事業

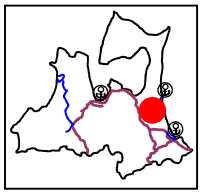
R4：180百万円

完成予定：R10年代

継続	青森県三沢市（みさわ）、上北郡東北町（かみきたとうほくまち）、上北郡六ヶ所村（かみきたろっかしょむら）	河川	直轄

汽水環境を有する小川原湖は、近年アオコが発生する等、水質が悪化傾向を示していることから、水質改善の対策等を実施し、小川原湖水環境の改善を図ります。

令和4年度は、流入河川砂土路川河口部に、流水内の懸濁物質を沈殿させるためのウエットランドを完成します。また、対策効果のモニタリング調査を実施します。







アオコの発生状況

令和４年度(2022年度)

青森県内港湾空港関係事務所
事業概要

令和４年３月２５日

国土交通省　東北地方整備局
青　森　港　湾　事　務　所
八戸港湾・空港整備事務所

問い合せ先

青森港湾事務所　青森市本町３丁目６番３４号　TEL:017-775-1394
副所長　佐々木（ささき）　正一（しょういち）
海洋利用調整官　福士（ふくし）　昌哉（まさや）

八戸港湾・空港整備事務所　八戸市沼館４丁目３番１９号　TEL:0178-22-9391
副所長　田村（たむら）　勇（いさむ）
企画調整課長　高橋（たかはし）　丈治（じょうじ）

１．港湾事業の概要

青森県内における令和４年度の直轄港湾予算は約６億円（対前年度比０．３９８）で、港湾事業の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

青森港においては、老朽化した岸壁の改良により、施設の機能回復及び延命化を図り、安定的な物流機能を確保します。

八戸港においては、航路泊地の浚渫と、浚渫土砂を安定的に処分するための土砂処分場整備により、大型貨物船の航行に必要な水深を確保し、北東北地域の産業を支える八戸港の海上輸送機能の強靭化を図ります。

２．事業費および主要事業内容

（単位：百万円）

港　　名	令和４年度 事業費	主な事業内容
青　森　港	２０８	本港地区・沖館地区老朽化対策
八　戸　港	４２６	八太郎・河原木地区航路泊地整備事業
合　計	６３４	

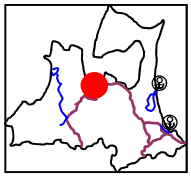
青森港（あおもり）　予防保全事業

R4：208百万円

完成予定：　ー

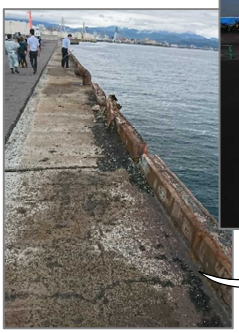
継続	青森県青森（あおもり）市	港湾	直轄

老朽化した岸壁を改良し、機能回復を図るとともに、施設の延命化を図ります。





▼ 整備前





※老朽化した岸壁の改良を実施

老朽化した岸壁の改良により、施設の機能回復及び延命化を図り、安定的な物流機能を確保します。

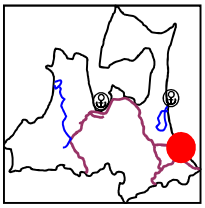
八戸港（はちのへ） 八太郎（はったろう）・河原木（かわらぎ）地区 航路泊地整備事業

R4：426百万円

完成予定：　ー

継続	青森県八戸（はちのへ）市	港湾	直轄

航路泊地の浚渫と、浚渫土砂を安定的に処分するための土砂処分場整備により、大型貨物船の航行に必要な水深を確保し、北東北地域の産業を支える八戸港の海上輸送機能の強靱化を図ります。







▲大型貨物船による荷役状況